

別記  
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	平成26年 7月14日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 〒611-0033 京都府宇治市大久保町西ノ端1番地1	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 オートワークス京都 代表取締役 江崎 浩一郎

環境マネジメントシステムの名称	環境管理マニュアル (ISO14001=JIS Q 14001:2004) /
適用範囲	株式会社 オートワークス京都 (宇治市大久保町に所在する地域)
導入年月日	1998年 1月 22日
認証番号	JAER0022
基本方針	環境保全に対する重要性を認識し、人・社会・自然にやさしい車両及び特装車づくりに努め、地球環境の保全と豊かな社会の発展に貢献します。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	CO2排出量削減(省エネの推進):総排出量を8.29千トン/年とする 廃棄物の削減:廃棄物量を50トン/年以下とする(2005年度比44%削減) 仕損費の削減:2005年度比50%削減
目標を達成するための取組の内容	CO2削減(省エネ活動) ①コージェネ設備の有効的な運用 ②塗装オープン等の運転時間適正管理 ③エア-漏れ等のタイムリーな改善 ④冷暖房温度設定の徹底 廃棄物の削減:4R活動の徹底とリサイクルの拡大 仕損費の削減:仕損発生時の再発防止対策(なぜなぜ解析の活用)
目標を達成するための取組の進捗状況	CO2削減(省エネ活動) ①コージェネ設備:運用中 ②塗装オープンの運転時間適正化実施中 ③エア-漏れ対策:都度実施中 ④冷房温度設定(28℃)実施中 ⑤暖房温度設定(17℃)実施中 廃棄物の削減:リサイクルの拡大実施中 仕損費の削減:なぜなぜ解析書作成により再発防止対策実施中
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	CO2排出量及びエネルギー総量共に、2013年度目標は達成。 <当初計画通りに取組み目標達成につなげることができた> 廃棄物及び仕損については、当初計画通りの取り組みができており概ね良好に推移している。
事業活動に係る法令の遵守の状況	年度計画に基づき、月度毎に測定結果及び届出等の確認を実施している。今日まで違反、行政当局からの指導・指摘はない。 さらに、法的要求事項の順守状況評価として毎年1回(2月)マネジメントレビューで確認し、問題の発生はない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しについては、毎年1回(2月)マネジメントレビューとして経営者の見直しを実施している。 平成25年度の活動実績は、それぞれ概ね良好であり、環境マネジメントシステムは定められたとおり適正に運用されているとの判断に基づき、平成26年度も活動の基本は継続し、システムは同一のものを運用した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。